

令和7年6月30日



株式会社ゆで太郎システム 御中

ゆで太郎夢基金

令和6年度充当報告及び令和7年度充当計画案



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和6年度に寄せられた寄付金 累計2,082万7,187円(令和7年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
株式会社 ゆで太郎システム	2024年4月15日	1,606,945
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年4月30日	546
株式会社 ゆで太郎システム	2024年5月15日	1,659,516
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年5月30日	534
株式会社 ゆで太郎システム	2024年6月14日	1,717,693
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2024年6月20日	71,475
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年6月20日	4,476
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年6月28日	2,822
セイブショウジ株式会社	2024年6月28日	2,548
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年6月28日	361
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年6月28日	50,425
ゆで太郎東北地区本部	2024年7月8日	213,324

令和6年度に寄せられた寄付金 累計2,082万7,187円(令和7年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
株式会社 ゆで太郎システム	2024年7月19日	1,591,549
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年7月30日	372
株式会社 ゆで太郎システム	2024年8月23日	1,799,338
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年8月30日	769
株式会社 ゆで太郎システム	2024年9月19日	1,810,005
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年9月30日	601
株式会社 ゆで太郎システム	2024年10月18日	1,597,402
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年10月30日	400
株式会社 ゆで太郎システム	2024年11月22日	1,727,941
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年11月29日	615
株式会社 ゆで太郎システム	2024年12月18日	1,694,924
株式会社ベネフレックス	2024年12月20日	3,661

令和6年度に寄せられた寄付金 累計2,082万7,187円(令和7年3月末現在)

寄付法人	寄付日	寄付金額
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年12月20日	5,493
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2024年12月20日	91,602
セイブショウジ株式会社	2024年12月27日	2,701
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年12月30日	3,864
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年12月30日	60,470
サントリービバレッジソリューション株式会社	2024年12月30日	363
ゆで太郎東北地区本部	2025年1月10日	290,852
株式会社 ゆで太郎システム	2025年1月20日	1,776,755
サントリービバレッジソリューション株式会社	2025年1月30日	415
株式会社 ゆで太郎システム	2025年2月12日	1,513,787
サントリービバレッジソリューション株式会社	2025年2月28日	347
株式会社 ゆで太郎システム	2025年3月21日	1,521,979
サントリービバレッジソリューション株式会社	2025年3月28日	317

令和6年度 ゆで太郎夢基金による充当事業

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	882万7,187円
//	②医療チーム【救護班】の養成	400万円
//	③地域防災セミナーの開催	200万円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	200万円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	200万円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	200万円
	合 計	2,082万7,187円

各充当事業の内容は、次ページ以降をご参照ください。

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

①災害対応(事例:能登半島地震及び大雨災害対応)

令和6年1月に発生した地震から復興に向けて進んでいた石川県能登半島。同年9月には大雨特別警報が発表され、再び甚大な被害に見舞われました。日本赤十字社は、日赤災害医療コーディネートチームや救護班、こころのケア班を派遣し、被災地の救護活動にあたりました。



©Shibuya Atushi

救急外来で太腿の傷を縫合する医師



避難所にて被災者と言葉を交わす救護班

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

②医療チーム【救護班】の養成

大規模災害に適時的確に対応するためには、全国的に統一された救護員育成体系に基づいた救護訓練及び研修を実施するなど、救護員への教育環境を更に整備する必要があります。

令和6年度は、救護班要員及び災害対策本部要員を対象とした研修プログラムを策定するとともに、各支部・施設においては、救護員育成体系に基づいた救護訓練等を継続的に実施しました。

今後も救護員の更なるスキルアップと新たな要員確保に努めるなど、全社的な救護実践力の向上を図っていきます。



関係機関との連携強化のための合同災害救護訓練（北海道）

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

③地域防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業(赤十字防災セミナー)は、過去の災害の教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害からいのちを守ることができるよう、全国で開催しています。

令和6年度は、気象台と協力したプログラム内容の充実化、地元の新聞社や企業と連携したイベントと防災セミナーの共催など、多くの支部が他団体と連携した取り組みを実施しました。

こうした取り組みにより、高齢サロン、民生委員・児童委員、自主防災組織や消防団から防災セミナーの開催を希望する声が寄せられているため、今後も地域と共に防災教育事業に取り組んでいきます。



避難所生活の課題などについて話し合う赤十字防災セミナー受講者(兵庫県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 青少年赤十字事業

④教育現場での防災教育の普及

青少年赤十字では、学校教育の中で活動する強みを生かし、幼稚園・保育所向けの防災教材『ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！』、小学生・中学生・高校生向けの『まもるいのち ひろめるぼうさい』を用いて防災教育を推進しています。

一例として佐賀県支部では幼児を対象に防災教育を実施しました。赤十字ボランティアと一緒に指導して、地震があった際に教室内の危険な場所を探したり、自分と大好きな人を守るための行動について考えたりしました。担任の先生からは「自分自身の身を守ることに加え、周りを助ける意識も高められたと感じる。」と感想をいただきました。

本教材の活用により、多くの子どもたちが防災の知識を得ることにとどまらず、いざというときに自分のいのちをまもり、他者のいのちを大切にするための行動力を身に着けています。



防災教育を通していのちを守るための行動を学ぶ
(佐賀県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 社会福祉事業

⑤ 社会福祉施設の資機材整備

日本赤十字社総合福祉センター(通称:レクロス)の資機材を整備するために使わせていただいております。令和6年度に整備させていただいた資機材は以下のとおりです。



車椅子3台、オイルヒーター1台、ベッド柵1個、天井走行リフト1台

令和7年度 ゆで太郎夢基金による充当計画(案)

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	800万円
//	②医療チーム【救護班】の養成	400万円
//	③地域防災セミナーの開催	200万円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	200万円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	200万円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	200万円
	合 計	2,000万円

